

産業厚生常任委員会資料

令和元年5月20日

健康福祉部 健康課

目 次

○播磨内陸医務事業組合立 播磨看護専門学校について P 1～P 2

[別冊]

○参考資料 1 播磨看護専門学校 学校案内 P 1～P 6

○参考資料 2 平成 3 1 年度募集要項 P 1～P 3

○参考資料 3 神戸新聞記事の抜粋 P 1

播磨内陸医務事業組合立 播磨看護専門学校について

播磨内陸医務事業組合立 播磨看護専門学校（以下、「播磨看護専門学校」という。）は、北播磨地域の医療・看護の充実と質の向上を目的に、北播磨の4市7町が共同で設置していた看護師養成所です。

平成27年3月31日付けで三木市、小野市が播磨内陸医務事業組合を脱退し、平成27年4月からは3市1町（構成市町：西脇市・加西市・加東市・多可町）（以下、「構成市町」という。）で共同設置し、北播磨圏域の看護師養成に寄与しています。

平成30年11月に小野市から「医療系専門学校誘致にむけて」の提案が提出されたことに伴い、構成市町が小野市から説明を受けた提案内容について報告します。

【小野市の提案内容】

1 趣旨

- (1) 民間活用を生かす教育手法への転換を図り、北播磨地域の医療人を育て、安定的な地域医療の運営に資する。
- (2) 「小野長寿の郷構想区域内」に、「播磨看護専門学校」に代わるより高度で専門性の高い「医療系専門学校」を誘致する。
- (3) 北播磨圏域における医療技術職資格取得をめざす者の選択肢の拡大。

2 「医療系専門学校」の規模等

- (1) 北播磨圏域における各病院への看護師供給体制の充実
(定員80名規模)
- (2) 全国的に人材が不足する言語聴覚士、理学療法士、精神保健福祉士の養成

3 播磨内陸医務事業組合構成市町のメリット

「播磨看護専門学校」校舎老朽化に伴う建替えの必要がなくなり、運営費負担も不要

4 進出予定法人

（運営する主な医療系専門学校）

5 想定される課題

- (1) 学生の納入金が高くなるため、新たな奨学金制度の創設

(播磨看護専門学校：授業料年額204千円、教育充実費年額60千円、教科書・実習衣・行事・見学等の実費はその都度徴収)

(2) 播磨内陸医務事業組合採用職員の処遇

(3) 播磨内陸医務事業組合構成市町からの通学距離が遠くなる。